

# 盲導犬知ってる？

ある日、駅のホームで盲導犬を連れてくる人を見かけた。そういえば、最近よく盲導犬がテレビとか新聞で取り上げられていて目にする。目の不自由な人をサポートする犬であること、まだまだ数が少なく供給が必要に追いついていないことは知っているが、それ以上のことはよく分からない。調べてみると、盲導犬とは、『道路交通法』に基づいて認定された犬のことらしい。なるほど、盲導犬になるためにはいろいろとクリアしなければいけない関門がありそうだ。もっと良く知るために、財団法人日本盲導犬協会・普及啓発部推進課の職員の方にお話を伺った。

この前駅のホームで見かけた犬もそうでしたが、何故、盲導犬の犬種はラブラドル・レトリバー(以下ラブ)なのでしょう？

「もともと、人と一緒に行動するのが好きな犬種なんです。以前は、ジャーマンシエパードという犬種も盲導犬として活躍していましたが、現在は優しい顔立ちで穏やかな性格のラブが主流になっています。」

確かに、強面のジャーマンより「のほほん」としたラブの方がいいなあ。

盲導犬の仕事は具体的にどのようなものなんでしょうか？やはり盲導犬ユーザー(使用者)の方を案内することですか？

他にも、盲導犬を連れてくる人に町で出会った時に注意すべき点がありそうですが…

「他に注意すべきことは、盲導犬に食べ物を与えないことはもちろん、勝手にさわったり、目の前に手を出したりしないことです。あと、目を見つめないでください。どれも、盲導犬が仕事に集中できず、ユーザーの方の行きたい方向が分からなくなってしまうたり危険にさらされたりする原因になりますから。それと、もし自分の家庭犬を連れてくるのであれば、他の犬がいることを伝えてあげてください。」

すみません…。穴が空きそうなくらい見詰めました…。ジャマしてたんですね。

ちなみに、現役の盲導犬は日本全国で約1000頭に対して盲導犬を希望する人は7800人と言われています。全然足りない。

じゃあ信号の前はちょっと危ないですよ？

「ユーザーが困っているような場面に出会ったら、ユーザーの方に声をかけてあげてください。この時に、犬に声をかけたり触ったりは絶対にしないよう注意してください。盲導犬は目の不自由な方にとって、体の一部のような存在ですから、親切のつもりで声をかけても集中力が途切れて不安になってしまいます。」

なるほど、ポイントは信号の前にいるユーザーを見かけたら、声をかけてあげること。その際、犬の集中力が途切れないように注意することのようだ。

大丈夫らしい。

「ここまで記事を読んで、もし、「もっと盲導犬のことを知りたい」と思ったら、毎月、各訓練センターで開催している『盲導犬体験デー』に参加しては如何でしょうか？(要予約)また、「盲導犬を応援したい」と思っていたら、寄付や書き損じハガキを送ったり、ボランティアに参加してみてもいいです。(詳しくは財団法人日本盲導犬協会の公式サイトをご覧ください)」

最後に同神奈川県訓練センターの職員の方から「町で盲導犬と歩く目の不自由な方に会ったら『温かく見守る』ようにしてほしい」とメッセージを頂きました。

僕も陰ながら応援して見守っていかうと思。う。今度はお仕事ジャマにならないよう、気をつけて。



【取材協力】  
財団法人 日本盲導犬協会  
■東京本部  
〒150-0045 東京都渋谷区神泉町 21-3-3F  
TEL:03-5452-1266 FAX:03-5452-1267  
http://www.moudouken.net